

# 令和2年度 学校評価 集計

## 1 学校教育目標

教育基本法等、関係諸法の精神及び趣旨に則り、社会風俗文化の発展と公衆衛生の向上に寄与する資質・能力の育成を図る。

○専門的知識及び技能を身につけた理容師・美容師

○社会人としての教養を身につけた理容師・美容師

## 2 経営方針 < 技・心、人間力の重視 >

社会の変化が著しく、理・美容業界の雇用等にも諸課題が見られるが、本学園の社会的責務は専門性を備えた社会人・職業人の育成にある。私たちはその責務を自覚し、学園に対する保護者や業界の信頼、法人設立の目的、並びに経営陣の信託に応える。

本学園は、「一人一人の学生を大切にする」という姿勢を教員が常に心がけ熱心に指導することを通し、将来をどのように働き、そしてどのように社会に貢献できるかを考えさせ、将来を見据えて、自己実現を図り、社会へ貢献できる人間の育成に向け、教職員一同心を一つにして職務の遂行に努めてまいりたい。

(1)本校教職員としての自覚と誇りをもち、職責を自覚し、進んで学校経営に参画する。

(2)学生一人一人を大切にし、その教育に責任をもち、学生のよき師表となるように努め、学校内外の信託に応える。

(3)自己研修に励み、教職に関する専門性を高める。

## 3 学校経営の重点 ……経営改善の推進

(1)教育活動、教育予算の執行等、教務・事務の適切かつ効率的な運営に努めると共に、自己点検・評価を実施し、学校経営・運営の改善に努める。

(2)学校行事等の適切な推進を図り、共感できる教育活動を展開する。

(3)学生募集・広報活動の重点化、効率化を図り、地域・関係諸団体の連携に努める。

(4)地域との連携を深め、地域に根ざした学校としての役割を果たす。

## (1)教育理念・学校教育目標(校長)

5段  
階評  
価

①	学校の理念、目的、望ましい学生像が定められているか。	4.6
②	学校における職業教育の目標が明確か。	4.4
③	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	4.1
④	学校の理念、目的、学生像、将来構想等が学生・保護者に周知されているか。	3.8

### 1)課題等

学生、保護者への周知  
適切だと思う。  
保護者へのメッセージ

### 2)今後の改善方策等

文書やHP、メール等を活用して周知していく。  
HPに保護者向けのページを作り文書を見られるようにする。

(2)学校運営（事務部）

①	経営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4.1
②	運営組織や意志決定機能が明確化され、有効に機能しているか。	3.7
③	人事、給与等に関する規定等は整備されているか。	4.0
④	教務・事務等の分掌組織、意志決定システムが整備されているか。	3.9
⑤	教育活動に関する情報公開が適切にされているか。	4.3
⑥	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3.7
⑦	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっているか。	3.8
⑧	指導力を備えた教員（本務・兼務）の確保に努めているか。	3.8

1)課題等

規定、分掌組織等整備されているので問題はないと思う。  
適切。  
教職員の確保が課題である。  
教務と事務の分離。協力は必要だが、教育に関することは教員が主体となり決定していく。  
ICTのシステム化が不足している部分がある。

2)今後の改善方策等

教育については計画・教員が立案する。設備備品、予算については事務が計画立案することを再度確認する。  
教員確保の仕組みを構築する。

(3)教育活動・教育環境（教務部・⑫は指導部）

①	学校教育目標・指導要領・学則等に基づいた教育課程が編成されているか。	4.3
②	学科の到達レベルや学習時間の確保は明確か。	4.4
③	実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。	4.1
④	理・美容部会が機能し、教育活動の改善が図られているか。	4.1
⑤	授業評価の実施・評価体制が図られているか。	4.7
⑥	成績評価、単位認定、進級・卒業の基準は明確か。	4.6
⑦	資格取得に関するカリキュラム、指導体制は整っているか。	4.4
⑧	教員が先端的知識・技能等を習得するための研修等の取組が行われているか。	3.5
⑨	学校行事等、適切に立案され実施されているか。	4.0
⑩	施設・設備は必要性に対応できるよう整備されているか。	4.0
⑪	防災体制は整備されているか。	4.3
⑫	生徒指導の重点（挨拶・マナー・後始末）が適切に実施されている。	3.9

1)課題等

外部研修を増やすなど、知識、技術の取得に務めたい。  
教員研修への予算が必要。  
生徒指導は大分良くなっている。  
修理されていない機器がある。  
2Fサロンの実践的な使用が課題である。

2)今後の改善方策等

理容部会、美容部会を定期的実施する。  
修理等については予算立てをして順次行っていく。報告のルートを確認する。  
挨拶については、教員が率先して行い、同時に学生会での挨拶運動も実施していく。

(4) 学生支援(指導部)

①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4.4
②	学生相談に関する体制は整備されているか。	4.2
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4.0
④	学生の生活環境への支援は行われているか。	3.8
⑤	保護者と適切に連携しているか。	4.1
⑥	卒業生への支援体制はあるか。	3.1
⑦	高校等との連携による職業教育等の取組状況はどうか。	3.7

1) 課題等

在校生については、一人一人の学生を大事にし、個別に対応している。  
卒業生への支援を充実させたい。  
同窓会を活性化させる。  
担任以外の相談窓口がない。卒業生との関わりが希薄。  
卒業生や高校生とのつながりをもっと持つべきだと思う。

2) 今後の改善方策等

今後とも学生ファーストの姿勢を続けていく。  
ホームページに卒業生の相談窓口を作成し、対応する。  
卒業時の担任が窓口になり、必要ならば情報を共有し対応する。

(5) 広報・募集活動(広報部)

①	広報・募集活動は重点化・効率化が図られ適正に実施されているか。	4.3
②	広報・募集活動を支援する職員体制ができているか。	3.8
③	広報・募集活動では、教育成果が適正に伝えられているか。	3.8

1) 課題等

問題なく順調に活動している。  
学生が有名サロンへの就職に興味を持つような仕掛けがほしい。  
もっと高校の先生とのつながりを持つ。  
さらに充実した活動のために、人材を確保し育成する。

2) 今後の改善方策等

入学者が増えてきているので、今年の内容をブラッシュアップし、さらに新たなことにも取り組みたい。  
高校の先生たちとより接点を持てるよう工夫していきたい。  
広報の情報を全職員が共有できるよう、朝の会等で周知していく。

(6) 法令等の遵守(①・④ 事務部、②・③教務部)

①	法令・専修学校設置基準・就業規則等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.5
②	個人情報の保護対策がとられているか。	4.2
③	自己評価の実施と問題点の改善が行われているか。	4.3
④	自己評価結果を公開しているか。	4.5

1) 課題等

情報公開はしているので問題はないと思う。  
整備されているので問題はない。

2) 今後の改善方策等

個人補情報の取り扱いに対して規約を遵守して行う。  
卒業後3年間、連絡先を保管しておき、卒業生の支援等に当たる。

(7) 社会・地域貢献(指導部)

①	学校の教育資源や施設を活用した社会・地域貢献を実施しているか。	3.8
②	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	3.8

1) 課題等

サロン実習室は、以前よりは活用されているが、もっと活用されるとよい。  
コロナ禍なので学生ボランティア活動は難しい。

2) 今後の改善方策等

サロン実習室をより活用していくよう、カリキュラム等を見直す。  
コロナ禍が収束したあと、近隣の施設を連携しボランティア活動を行っていく。

## 令和3年度学校関係者評価委員会報告書

1 日 時 令和3年6月28日(月) 13時～14時35分

2 場 所 SENDAI中央理容美容専門学校 3階会議室

3 出席者 学校関係者評価委員  
柳澤 邦充、矢子 浩次郎、佐藤 瑞恵  
本校関係者  
横橋 健、品川 真里子、櫻井 江利子

4 欠席者 兼重 康浩、伊藤 貴章

5 審議内容

① ②について横橋校長より資料を基に説明があった。

① 令和3年度学校経営方針について

- ・毎年学生にアンケート調査を実施している。学校生活満足度調査では年々満足度が上がっている。また、教員授業評価の結果は日々の指導の振り返りに生かされている。
- ・学生の地域清掃活動を通して、地域に根ざした学校になってきているのではと感じている。

② 令和2年度学校評価（自己評価）について

- ・学校の理念、目的など学生・保護者に周知されていないのではという課題を改善する方法として、ホームページに学生、保護者向けページを設けた。その中で情報を発信していきたい。
- ・生徒指導の重点の1つである挨拶については、大分良くなっているが、教員が率先して行い、同時に学生会でも挨拶運動を実施していきたい。  
(挨拶運動はコロナ渦である為、状況を見て実施していきたい)
- ・卒業生への支援体制については、卒業生の把握が難しくなっている状況ではある。ホームページに卒業生向けページを設け、相談等出来る環境を整備している。また、担任が窓口となり対応していきたい。

③ 学校評価(自己評価)に対して検討・提言

- ・前年度に比べ、全体的に評価が上がっている。
- ・ホームページ等を活用し、保護者へ学校生活や行事等の情報発信をしてはどうか。
- ・学生に実施している学校生活アンケート調査について、選択肢からの回答だけではなく、自分の意見を記入できる欄を設けてはどうか。学生の意見が拾えるのではないか。